

第35回 国民文化祭・みやざき2020
第20回 全国障害者芸術・文化祭みやざき大会



ことば 現代詩の祭典

in 宮崎市

「2020 ひむか 土地からの声」

入場
無料
(申込不要)

開催日

令和2年

11月14日土

(12:30開場) 13:00~17:00

会場

宮崎市民プラザ オルブライトホール

(宮崎市橘通西1丁目1-2) TEL:0985-24-1008

オープニングアトラクション 船引神楽

表彰式 入賞作品発表・作品披露

講演 「いま古典を読むことの意味」

片山 恭一氏

※内容については、変更の可能性もありますので、ご了承ください。

(宮崎県指定無形民俗文化財 船引神楽)

主催

文化庁 厚生労働省 宮崎県 宮崎県教育委員会 宮崎市 宮崎市教育委員会
第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会 日本現代詩人会
一般社団法人日本詩人クラブ 宮崎県詩の会



オープニングアトラクション — 船引神楽 —



船引神楽は、宮崎市清武町船引地区に伝わる春神楽で、「作祈祷神楽」とも呼ばれ、五穀豊穡、子孫繁栄を願って、船引神社、庵屋地区の炎尾神社、黒北地区の大將軍神社に毎年奉納されています。

神楽の起源は不明ですが、少なくとも江戸時代には船引神楽として定着していたと考えられています。

三十三の番付が現在に伝えられており、高尚優雅な舞、勇壮活発な舞として高い評価を受け、平成3年3月15日に宮崎県無形民俗文化財に指定されました。

『2020 ひむか 土地からの声』

◆テーマプレゼン(映像)玉田圭詮氏による/◆劇(劇団SPCによる)/◆詩の群読(土地からの声を…読む)

講演 — 講演者プロフィール —



(写真撮影：小平尚典氏)

演題：「いま古典を読むことの意味」

片山 恭一 氏

1959年1月5日愛媛県宇和島市に生まれる。愛媛県立宇和島東高等学校卒業。1977年九州大学農学部に入學。専攻は農業経済学。1981年同大学卒業、大学院に進む。

1986年「気配」にて『文学界』新人賞受賞。1995年、『きみの知らないところで世界は動く』を刊行。はじめての単行本にあたる。2001年『世界の中心で、愛をさけぶ』を刊行。その後、ベストセラーとなる。近著に『世界の中心でA Iをさけぶ』（新潮新書）、『世界が僕らを嫌っても』（河出書房新社）などがある。福岡市在住。

作品リスト

【小説】

『きみの知らないところで世界は動く』（小学館文庫）
『ジョン・レノンを信じるな』（小学館文庫）
『世界の中心で、愛をさけぶ』（小学館文庫）
『もしも私が、そこにいるならば』（小学館文庫）
『最後に咲く花』（小学館文庫）
『船泊まりまで』（小学館文庫）
『遠ざかる家』（小学館）
『空のレンズ』（講談社文庫）

『雨の日のイルカたちは』（文春文庫）
『壊れた光・雲の影』（文芸春秋）
『静けさを残して鳥たちは』（文芸春秋）
『宇宙を孕む風』（光文社）
『愛について、なお語るべきこと』（小学館）
『生きることの発明』（小学館文庫）
『なににもないことが多すぎる』（小学館）
『新しい鳥たち』（光文社）

【評論】

『考える元気』（光文社文庫）
『どこへ向かって死ぬか』（NHK出版→小学館文庫）
『死を見つめ、生をひらく』（NHK出版新書）
『世界の中心でA Iをさけぶ』（新潮新書）



会場 宮崎市民プラザ オルブライトホール

(宮崎市橘通西1丁目1-2) TEL:0985-24-1008

★バス

橘通1丁目バス停をご利用ください。橘通1丁目バス停から徒歩3分

★電車・バスをご利用の方

宮崎駅・南宮崎駅からバスで10分、徒歩30分

★空港をご利用の方

宮崎空港からバスで25分、タクシーで20分

(希望者のみ)：式典終了後、交流会を開催致します。

交流会

時間 18:00~20:00

会場 ニューウェルシティ宮崎 宮崎市宮崎駅東1丁目2-8 TEL:0985-23-3311

会費 6,000円 ※交流会に御出席の方は下記の口座に振込みの上、申し込みをお願い致します。

※事前の申し込みが必要です。事務局にお申し込みください。

郵便振替口座 記号 17390 番号 18123351
口座名義 ミヤザキケンシノカイ



■ 問い合わせ先

宮崎県詩の会 実行委員長 兼 事務局長：谷元益男

〒886-0212 宮崎県小林市野尻町東麓 5667

TEL 0984-44-1248 FAX 0984-44-1248

E-mail: m.tanimoto@btvm.ne.jp